

教委 = 加藤千博教育長 小笠原尚一学校教育課長 齋田強一主任指導主事

知教労 = 草 敏弘 佐田京美 岡崎良久

## 1 県「多忙化解消プラン」に基づく多忙化解消の具体化について

(組合)

引き継ぎもあると思うが、昨年よりも進んだことを伝えてほしい。

(教育長)

○部活動ガイドラインを作成し、それに則って部活動を実施している。

○夏休みの閉校日を作った。今年は土日入れて5連休にした。

○留守番電話の自動音声対応を9月から本格実施した。

○教職員の意識向上のため先生たちから標語を募集した。

○年度の替わる時に、業務の縮減に向けて会議の精選、職員会の短縮、学校公開日の回数を減らすなど、学校毎に取り組めることを出してもらった。

## 2 在校時間管理について

(組合)

4月の在校時間を調べて気になったこと。

○各学校によって形式が違う。休憩が取れているかいないか、自分で変えられるようになっていないか、自分ではわからない。在校時間から8時間半を引いている学校が多い。

○個人の割り振りの記録を見ても、学校によっては、コピペが多く、きちっとした記録になっていない。たんなる提出文書になっている。自分たちの健康に必要な物になっていない。

○ある中学校は4月なのに長時間勤務がない。昨年と同じ。正確に記録しているのか？校長の管理者責任も教委で指導してほしい。正確な記録をとるためにタイムカードなどの方法を検討してほしい。

(教育長)

タイムカードは昨年も検討委員会で調査したが、要望する意見は少数だった。それで今回は見送った。

(主事)

アンケートで聞いたが、反応がよくなかった。

(組合)

正確な時間管理は管理者の責任。記録を見て正確にっていないことを指摘しているのか？

(教育長)

どういう形をとるにしても、先生の意識が大きい。去年は標語で意識してもらおうとした。タイムカードの導入を考えないわけではない。

(組合)

45分の休憩時間がとれたか取れなかったか、それを正確に記録する集計にするよう県から通知が出ているが、徹底されていない。指導されているのか。

(教育長)

まず休憩時間はとってもらうのが一番大事。学校で努力してもらおう。とれない場合は、県の方向性でやってもらえればいい。

(主事)

4月の校長会で話をした。再度話をしていきたい。

(組合)

勤務時間を減らすのは緊急な問題。割り振りをとらせるのは管理職の問題。申し出にくい雰囲気があるなら、管理職から「割り振っていい。」と言ってもらおうと気楽にとれるようになる。

## 3 具体的手立ての要求 - 中学校の部活動について

(組合)

かつての部活動指導員の話はどうなっているか。

(教育長)

検討の中には入っているが、具体的な形にはなっていない。人的金銭面も含めて外部から指導員を入れることの難しさがある。スポーツクラブ東海という地域活動もある。すべてを移行するのがうまくいくか分からない。少しずつ移行していくことになるだろう。先生以外でやれるよう模索している。いろいろなハードルがあるのでスムーズに行くのは難しい。

(組合)

法令に基づいて先生でなくてもやれるものは移行してもらいたい。顧問に代わる指導員をいれていただけるとありがたい。

(教育長)

部活動の中に指導員を入れるのは、解決する問題が多くハードルが高い。

(組合)

部活をやりたい先生とそうでない先生がいるので、一律顧問はやめてほしい。生徒も同じ。先生も全員顧問をしないといけないのは、止める方向で行ってほしい。

(教育長)

学校の部活動以外の子どもが増えてきている。そういう子については、はっきり部活をなしというのは難しいかもしれないが、認めていく方向にはなっている。

(組合)

必ず部に所属しなければならないのは、学習指導要領にも反している。1年は試して2年から決めるなどの方向もある。教員も、校長に頼まれていやと言える人は少ない。内心はいやだがしぶしぶ引き受ける人も多

い。勤務時間を超える業務になるので部活動の顧問をしなくてもよいという選択肢を入れてほしい。

学校の先生が指導できない部活動に指導員を入れ、選択権を教員に任せてほしい。

(教育長)

現段階で部活動は全員が所属している。先生も同じ。先生の意向を聞いて複数の先生で担当している。

(組合)

今までそうしてきた。それで長時間労働がある。部活指導をしているとそうなるのは決まっている。

(教育長)

実質的に今の学校の部活の運営に支障が出てくる。お金の算段なども出てくる。地域の保護者に部活をしっかりやってほしいという人もいる。急にその形でやれるかという難しい。

(組合)

やれるのかやりたくないのかは希望を聞ける。教職員の実態をきいてみて今後のやり方の参考にするという方向もある。現在やらないと言っている教員はいるのか。

(教育長)

把握はしていない。

(組合)

現実是不承不承となっている。土曜日に入ってもやっっているのか、やりたくないのかなどを聞いていただきたい。いずれ、教員の手から部活動が離れるべき。このままだと100時間超えが変わらない。

(教育長)

部活の問題についてはよく分かっている。今までずっと続いてきた中学校の活動なので、変えていくのは市のガイドラインが第1歩。それをまず進めている。

(組合)

県のガイドラインが学校長を中心に部活動を認めるものになっている。教師の負担を減らしていく観点から、朝部の全面廃止はどうか。

(教育長)

昨年度、夏はなくすとなった。ガイドラインを実行していく。

(組合)

去年、多忙化解消検討委員会が、2回開かれたと聞いた。

(主事)

話し合い後も含めて昨年は4回開いた。今年は、学校の様子や自動音声対応の問題を話し合い、今後は県の方針に対する東海市の対応の在り方などを話し合っていく。

(組合)

今後、教員の職務から部活動を切り離していったらいい。朝部も早くなくしてほしいと願っている。

(主事)

4月に朝部活を減らすなど工夫している学校もあるので、情報共有もしていきたい。

(組合)

試合があると、練習時間を取らないと行けない。

(主事)

教員の多忙化の面からも東海ジュニアフェスティバルについても以前より絞りつつある。スポーツ課から、「教員の多忙化が・・・」との声が聞こえてくることもある。

(組合)

小学校の部活の廃止はどうか。

(教育長)

続いてやっているが、保護者の期待と教員のやりたい人がいる。一気に廃止は難しい。縮小の方向はある。

#### 4 教職員会等の出版物について

(組合)

知多の友は公費か？

(主事)

リーフは保護者負担。健康手帳・夏休みの友は公費。

(組合)

知多の友は編集作業がある。公費はありがたいが、冊子作りがなくなる。まずは公費から外してほしい。あるから使うだけでなくでもできる。最初は善意から始まったのだろうが、今は使われることが少ない。健康手帳も、記録は他のものでもできる。公費にする必要が無い。

(教育長)

公費でなくなると、作らなくてよくなるのか？。

(組合)

私費だとやめることにつながる。保護者負担を減らせる。自分たちが作った物を使うのもいいが、使いたくない先生もいる。検討の余地はあるのか。

(教育長)

そういう人もいるかもしれない。作る先生の負担は大きい、助かっている先生も多い。

(組合)

減らす物が見えてこない。職場体験を減らすなど、膨大な時間がかかっていた物を減らすのはありか。

(教育長)

学校の事情もあるので、学校の中で考えてやっている。教委としても市全体でどうするかを考えていく。さらに踏み込んで今まで以上に減らすように努力していかないといけない。

その他

○多忙化解消検討委員会の検討内容と今後の計画

○学校訪問の簡略化

○小学校の英語教員の増員

○学校用務員の採用

○エアコン設置の進捗状況

○ドッジボール大会の見直し

○小学校の林間学習を1泊2日に

○WBGT31度で運動・部活動の中止

等は、時間が足りず話し合うことができませんでした。